

欄に記入してください

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

山陽エア・ケミカルズ株式会社 大竹工場

(2) 事業所の所在地

広島県大竹市東栄二丁目1番21号

(3) 業種

圧縮ガス・液化ガス製造業 1623

2 計画の期間

本計画の期間は、平成30年度を基準年度とし、令和元年度から令和5年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度		計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))							
		上段：見込量 (b)	下段：削減率 (c)	平成 年度		平成 年度		平成 年度		平成 年度	
エネルギー起源CO <sub>2</sub>			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フロン類			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス実排出量総計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガスみなし排出量											
実績に対する自己評価											

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

千Nm<sup>3</sup>

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度		計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))						
		上段：目標 (b)	下段：削減率 (c)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	0.360	0.290	19.0	0.321	11.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
フロン類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	0.133	0.112	16.0	0.134	-1.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
実績に対する自己評価	令和元年度は液化酸素と液化窒素の需要バランスが若干悪くなり、液化酸素のブローが増加したため、原単位が悪化した。									

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の低減	電気使用量を1.0%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な生産計画立案（運転モード移行回数を極小化）</li> <li>・年間を通じた冷暖房管理</li> <li>・品質管理の徹底</li> </ul>
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。